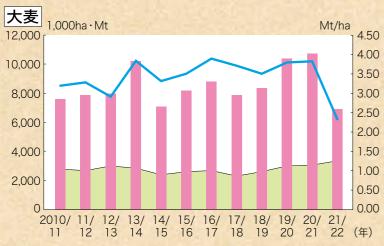
## ■カナダ主要品目

作付面積(1,000ha)·生産量(1,000Mt)·単収(Mt/ha)









輸出船積み施設(フレーザー・グレイン・ターミナル) バンクーバー近郊に所有する輸出船積み施設

ブリティッシュ ・コロンビア州 メイモント リフォード バンクーバー港 ベグレビル

グレインズコネクト・カナダ・オペレーションズ内陸集荷施設(サスカチュワン州メイモント) ハクスリー バンクーバー港と北米の顧客へ穀物を輸送する自社専用貨車 (内陸集荷施設)

近郊に設立しまし

同施設は、

2020年12月よ

9

ミナルをバンク

小麦粉・植物油の値上げを懸念19年ぶりの大減産

ダの内陸集荷施設から

輸出港までのサプラ

ら本船へ直接船積みする手法で船積みを開

カナダでは、

小麦、

菜種などの作物は例年

旬から6月上旬頃にかけて作付けを行

8

周辺農家から主に小麦、 保管能力3万5000

菜種を集荷し、 有・運営しています

務めています。

の船積みに対応する

などカナダ産穀物の安定供給に

· 9

では夜間

カナダでも新型コ

ロナの感染

求めら

貨車で西海岸の

港及び北米の顧客へ

穀物を

荷

していま

ダ有数の穀物業者であるパリッシュ

どの感染防止対策を徹底しています

出船積み施設の両方で、 れる事業に位置づけら

部外者の来訪を制限するな

れており、

弁で、

船積み施

州に2基の計4基の

基あたり

を行

ナダ穀倉地帯のサスカチュワン州に2基、

インズコネ

オペレー

ションズは

能となりました。

アルバ

ある過酷な環境ですが、 カナダ内陸部の冬は、

内陸施設の安定的な稼働

氷点下

40℃以下になること

カナダ産穀物の安定供給を目指す

輸出施設の充実で

チェーンを完成させました。

今季から保管ビンを

円滑な船積みが

む施設の本格稼働を開始

ノと東豪州に基盤を持つグレインコープ社の合弁によって設立されました。 カナダ穀倉地帯と輸出港スコネクト・カナダ・オペレーションズ株式会社 (本社:カルガリー市)は、2015年12月に全農

ションズ株式会社

カナダ産穀物の安定的な調達・供給を目指しています。

サプライチェーンの構築により、

(1)

月下旬 乾燥のストレスを受けてしまう状況となりました。 昨年は夜間の気温が3℃以上となる日が複数日 日々が続き、 通常は夜間になると急速に温度が下 から10月末頃にかけて収穫し 較差も小 には40℃を超える日 物で高温 もありま がります ず高温乾 しかし

生産量は、 (前年比33.6%減)、 農産食品省によると、 -の約28 大麦は約 年の秋に収穫された小麦 から約 高温乾燥のス 074万tか 0

カルガリー (本社)

麦 なっています 上運賃の高騰も相まって、 ナダの穀物生産者は皆、 現地では、 植物油製品の 上げ が避け

願っています

今年は豊作になることを

カナダ産穀物価格は高騰しており、 (同35・3 年ぶりの大減産となりま %減)、 菜種は約

春の作付けの準備が進められており、 輸入国では配合飼料や 状況と

25 ちくさんクラブ21 Vol.138 2022 2 ちくさんクラブ 21 Vol.138 2022 2 24